



げんきくとひなたち

応援プロジェクト

コウノトリとなかよし



二年 わたしは、ガムシを見つけ
てそだてています。田んぼに入っ
てつかまえました。一年生の時は、
田んぼに入ることができなかったけど、
二年生になって、入ることができ
うになりました。入ることができ
うれしかったです。

二年 ぼくは、おたまじゃくしをつかま
えました。ぼくがつかまえたおたま
じゃくしは、まだ足とかは生きてい
ませんでした。おたまじゃくしは、お
よぐのがはやかったです。だから、
つかまえるのがむずかしかったです。
よけいのところにおたまじゃくし
いっぱいいて、うれしかったです。

2年生は、田んぼでコウノトリのように生きものを見つけることができるか、挑戦してみました。

人にもコウノトリにも安全・安心な 田んぼづくりに挑戦!



五年 給食などでふつうに食べているお米
だけど、八十八回ぐらいの作業がある
うちの一つである田植えがあんなに大
変だったので、感しゃして食べたいと
思いました。現代は機械や田植え用品
などの便利な道具がたくさんあるけれ
ど、昔はそのようなものはなかったと
思うし、家族の人数も少ないのですご
く大変だったのだと思います。手伝
ってくださった方にも感謝したいです。

五年 コウノトリのえさ場をふやすために、
田のはしに水場をつくることにしまし
た。コウノトリにとっては巢の近くに
えさ場がふえたので、ヒナのためにえ
さがたくさんとれるといいと思いました。
私たちにとってもコウノトリにとっ
ても安全・安心な田んぼになってくれ
ることを願いながら、五年生みんな
一生けん命田植えをしました。うれし
かったけれど大変でした。

5年生は、自分たちもコウノトリも安心・安全である田にするにはどうしたらいいかを考えながら、米作りに取り組んでいます。

コウノトリと共に生きる 西小6年生の提言



六年 今年から、コウノトリ情報チャ
ンネルを立ち上げました。昇降口のホ
ワイボードに、コウノトリの最新の写
真を掲示しています。情報チャネルを
立ち上げた理由は、全校のみんなに
コウノトリが今どのくらい大きく育
ったのか、どんな様子なのかを見て分
かってほしかったからです。これか
らコウノトリのためにいろいろな活
動をくふうしてがんばっていきま
いたいです。

六年 五月二十六日に、ヒナの足環
付けがあり、六年生は、近くで様
子を見ることができました。思っ
ていたよりヒナが大きくて、す
くすく育ってくれてうれし
かったです。その後全校のみ
なさんに協力してもらい、ヒ
ナの名前を考えてもらいま
した。どれも願いや意味がこ
められていてヒナに対する
思いが伝わってくるステキ
な名前でした。どの名前にな
るか楽しみです。

コウノトリを大切に思う人々の努力や思いを受け、コウノトリと共に生きる地域・町づくりをどのように進めていけばよいか提言する。